令和８年度

第２回苫小牧市福祉のまちづくり推進会議　議事録

■ **日　　時：令和８年１０月２９日（木）**

■ **場　　所：苫小牧市役所本庁舎９階第２委員会室**

■ **出　席　者：２０名**

＜委員＞

井上　あゆみ　　江尾　清　　奥本　政一　　菊地　文則　　斉藤　フミ子

佐々木　彩　　鈴木　英樹　　髙橋　恵子　　新田　朋章　　野中　雅子

本間　貞樹　　山田　幸雄　　山本　茂夫（敬称略）

＜事務局＞

木澤健康福祉部長　力山健康福祉部次長　上林障がい福祉課長　猿田障がい福祉課長補佐、渡辺主査　伊澤主査、渡辺主事

■ **欠　席　者：１名**

＜委員＞

井村　友美（敬称略）

■ **次　　第**

１　開　　会

２　議　　事

（１）新たな計画の概要とパブリック・コメントについて

（２）福祉のまちづくり推進計画・障がい者計画アンケートの動向について

（３）当事者団体インタビューと庁内関係部署の動向について

３　閉　　会

■ **議事要旨等：**次項以降

【議事要旨】（事務局より資料に基づき説明）

（１）新たな計画の概要とパブリック・コメントについて

（２）福祉のまちづくり推進計画・障がい者計画アンケートの動向について

（３）当事者団体インタビューと庁内関係部署の動向について

【質疑要旨】

斉藤委員：質問票の記入方法はどのようにしたらよいですか。

事務局：特段決まりなどはありませんので、伝えやすい方法でかまいません。また、書面での回答が難しい場合は口頭でお伝えいただいてもかまいません。

新田委員：アンケート結果をまとめた資料について、障害者手帳を持っている方と持っていない方の回答結果が分かれた状態で出されるのでしょうか。

事務局：アンケートの設問については、障害者手帳を持っている方と持っていない方でそれぞれ異なっており、一部重複している質問はありますが、結果の集計についても、障害者手帳を持っている方と持っていない方の結果は分けて集計し、資料としてまとめる予定です。

斉藤委員：障害福祉サービスの就労選択支援について、高等養護学校や特別支援学校等を卒業して就労を開始する新卒の学生等については、どのような取扱いになるのでしょうか。

事務局：これまで学校が独自で行っていたモニタリングや生徒が参加する実習等について、就労選択支援事業所も共に参加し行っています。

斉藤委員：各学校に就労選択支援が開始されたことが周知され、学校や当事者である生徒が就労選択支援を利用できているということでしょうか。

事務局：ご認識のとおりです。就労選択支援事業所から各学校にお声掛けをしているほか、市としても各学校に対し周知を行っております。

質疑終了

その他の事項については質疑がなく、会議終了